

令和4年12月 23 日(金)
問い合わせ先 水産課
電話 0479—24—8936(直通)

令和4年水揚量(速報)

このことについて、銚子市漁業協同組合に問い合わせたところ、令和4年中の水揚量は、12月 20 日までの時点で、235, 753tです。

令和4年11月末現在の水揚量は、

○1位の銚子漁港が230, 851t

○2位の釧路漁港が169, 095t

でしたので、銚子漁港の12年連続水揚量日本一は確実です。

※時事通信社の「全国主要 32 漁港月間取扱高」の 10 月分までの累計水揚量上位2漁港について、各漁港の 11 月分の水揚量を銚子市で調査し集計したものです。

※なお、10 月分までの累計水揚量は、1 位の銚子漁港が 228, 813t、2位の釧路漁港が 162, 798t、3位の境漁港が 95, 947tです。

(参考)

過去 3 年の 12 月水揚量

	R3	R2	R1
銚子漁港	27, 712 t	30,214 t	37,837 t
釧路漁港	3, 506 t	2,611 t	2,759 t

銚子漁港 さば、いわし、さんまの3か年水揚げ

	令和2年	令和3年	令和4年 (12月20日時点)
さば	88,786t(32.7%)	100,715t(35.9%)	30,128t(12.8%)
いわし	157,627t(58.0%)	158,538t(56.5%)	188,243t(79.8%)
さんま	476t	18t	0t
全体	271,841t	280,412t	235,753t

※さんまは日本全体で昨年に引き続き不漁となっており、11月末現在で17,869tである。1950年の統計開始、棒受網漁業本格化後から3年連続で史上最低年となった前年同期(17,899t)をさらに下回った。

○日本一の記録

1961年に創刊した水産物流通統計年報によると、貝類・海藻類を含む水揚量の日本一記録は、釧路で1979年～1991年の13年連続が最長となっている。

連続記録の2位も釧路で1969年～1977年の9年連続だった。

銚子は昨年で、2011年から2021年の11年連続で単独2位となっている。

○銚子漁港水揚げ順位の推移

西暦	和暦	水揚量(t)	順位	備考
1997	平成9年	284,431	1	初日本一
1998	平成10年	252,334	1	
1999	平成11年	221,802	2	1位八戸 223,888t
2000	平成12年	200,826	3	1位八戸 241,216t、2位焼津 219,056t
2001	平成13年	237,238	1	
2002	平成14年	187,547	2	1位焼津 227,811t
2003	平成15年	219,725	2	1位焼津 242,824t(小川地区 29,543 を加算)
2004	平成16年	201,045	2	1位焼津 229,901t
2005	平成17年	215,070	2	1位焼津 230,105t
2006	平成18年	261,462	1	
2007	平成19年	218,528	1	
2008	平成20年	252,042	1	
2009	平成21年	223,739	1	
2010	平成22年	214,240	2	1位焼津 218,783t(小川地区 17,868 を加算)
2011	平成23年	225,619	1	
↓				
2021	令和3年	280,412	1	11年連続